

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成11年4月26日

第4報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	15		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	50		
(黄鞭) <i>Chrysomeoba radians</i>	80		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	9		
(珪) <i>Melosira italica</i>	9		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	290		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	63		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	34		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	10		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(渦) <i>Gymnodinium helveticum</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	370		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	360		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	520		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	145	7.6	6.4
(珪) 珪藻綱	445	23.3	16.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	380	19.9	23.5
(褐) 褐色鞭毛藻綱	880	46.1	52.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	20	1.0	1.0
(他) その他のプランクトン	40	2.1	0.0
総細胞数	1910	総体積	1.33E+06
種類数	18	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

## 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	40

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

### 植物プランクトン第1優占種



***Rhodomonas* sp.**  
(ロードモナス)  
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 $\mu\text{m}$ と小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。  
2本の鞭毛を有する。

### 動物プランクトン第1優占種



***Synchaeta oblonga***  
(ナガマルドロウムシ)  
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225~345 $\mu\text{m}$ 。体側は縦の条線があるのが特徴である。

コメント:植物プランクトンは、褐色鞭毛藻のロードモナスが最も多くなった。ロードモナスは3月末に多く見られ、その後は一時減少したが、最近はやや横ばい傾向である。淡水赤潮を起こす黄色鞭毛藻のウログレナは、本調査では平成9,10年度の同時期には1~2群体/ml見られている。本年度は出現がやや遅い。動物プランクトンは、ワムシ類のナガマルドロウムシが40